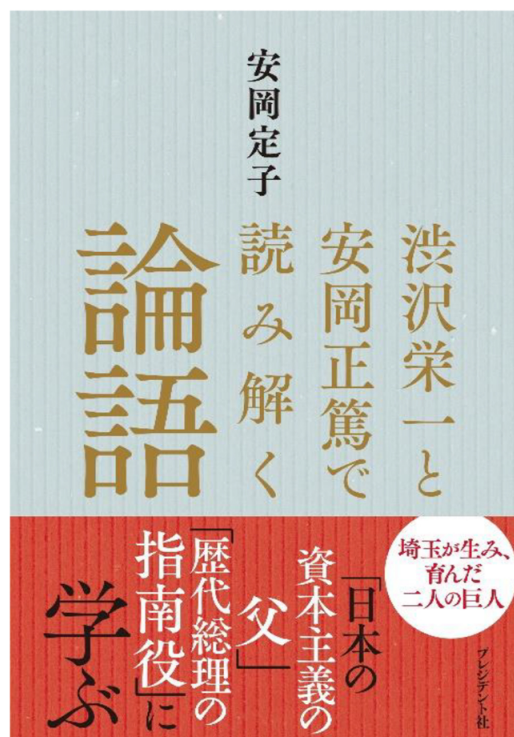


日本資本主義の父・渋沢栄一と、政財官界の指南役・安岡正篤。
論語に造詣の深かった二人の巨人の生涯に真の生き方を学ぶ。

渋沢栄一と安岡正篤 で読み解く『論語』

新1万円札の新しい顔となり、また2021年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公として取り上げられる渋沢栄一氏。「日本資本主義の父」と称されるこの実業家は、著書『論語と算盤』で知られるように、道徳と経済の両立を説き、またそれを生涯実践した人でした。経済と道徳をどう両立させていくか。企業経営者やビジネスパーソンにとっては、今日的課題として突き付けられているものです。一方、安岡正篤は東洋の哲学に幅広く通じ、孔子の言行録である『論語』の本質を国内外の社会・政治情勢に照らし合わせながら、解き明かしています。『論語の活学』『朝の論語』などの著書があります。ふたりの生涯を辿り、『論語』に関する著作を読み解くことは、「経済」と「政治」という2つの視点から、現代に生きる我々に『論語』が多くの知恵や示唆を与えてくれるだろう。



- 序 いまなぜ『論語』が必要とされているのか
- 一 私と渋沢栄一、私と安岡正篤
- 二 二人の生涯と『論語』——
「経済」の渋沢、「政治」の安岡
- 三 二人は『論語』をどう読んだか——
渋沢栄一の読み方に学ぶ
- 四 二人は『論語』をどう読んだか——
安岡正篤の読み方に学ぶ
- 五 未来に受け継ぎたい二人の教え



著者 安岡定子 (やすおか・さだこ)

二松學舎大学文学部中国文学科卒業。政財界の精神的指導者として知られた安岡正篤師の孫。論語教育の第一人者として、全国各地で開催している定例講座は20か所以上に及び、これまで指導してきた子どもの数は2000人以上。企業やビジネスパーソン向けセミナーにも精力的に取り組んでいる。『楽しい論語塾』(致知出版社)、『ドラえもんはじめての論語』(小学館)『心を育てるこども論語塾』『仕事と人生に効く成果を出す人の実践論語塾』(ともにポプラ社)など著書多数。

渋沢栄一と安岡正篤で読み解く『論語』

ISBN 978-4-8334-2403-5
本体価格 1,700円+税

全国主要書店、amazon等でお買い求めください。
当社販売サイト プレジデントストアでもお買い求めいただけます。
<https://presidentstore.jp/category/BOOKS/>